

平成24年度 学校業務改善システム構築支援事業

淡路市立東浦中学校長 田中 一平

1 基本方針

- (1) 生徒と関わる時間を確保する。
- (2) 情報機器を活用して、事務処理時間の短縮、事務の効率化を図る。
- (3) 学校ルールブックの活用を図る。

2 具体的な取り組み

- (1) ノー会議デー、ノー残業デー、ノー部活デーの推進
 - ・ 記録簿だけでなく、職員会議で配布する月中行事予定表、職員室の行事黑板にも記載して教職員に徹底を図る。
 - ・ 月に一度、全職員一斉退勤日を実施する。(勤務終了時刻定時退庁)
- (2) 校務データの共有化
 - ・ 校務に関するデータは原則サーバーで保存する。個人のパソコンにデータをなるべく残さない。
 - ・ 指導要録・通知簿を電子化する。
- (3) ルールブックの確認とそれに従ったサービスに関する声かけ
 - ・ 昨年作成したルールブックを活用する。
 - ・ ルールブックに従ってお互いに声かけをする。
 - ・ ルールブックの不備を補い、見直す。

3 成果と課題

- (1) 成果
 - ・ 見通しを持って事務処理をするようになった。
 - ・ 職員会議、学年会議、各委員会会議の時間が10パーセント～20パーセント短縮された。
 - ・ 通知簿が電子化できた。
- (2) 課題
 - ・ 中心校として、指導要録、指導要録の抄本等の電子化を図り、様式例を作成したが、不備であったため連携校に配布できなかった。
 - ・ 部活動の時間が増えたが、教職員の健康管理が課題として残る。